

-----5月17日-----

今週のアウトルック (5/17 ~ 5/21)

投機筋に相場を支配された状況は続きます。

ギリシャ危機やユーロ危機に動かされているというより、大きなボラティリティを作り出して利益を上げることに目標を置いた、投機筋に動かされている相場と考えた方が納得いく局面は多いように思います。特に円安に進む状況は、トレンドの変化ではなく、一時的な単なる投機筋の買い戻しと考えた方が傷は少ないように思います。

問題は目標レートがどのあたりかということになってしまうのですが、ユーロドルの第一目標とされていた1.25を割っても収束しそうもありません。第二目標は1.23あるいは1.2割れあたりとされているようですが、その可能性も50%程度と考えておいた方が良いでしょう。

ファンダメンタルズで相場状況を考えてトレードができる状況には、しばらくならないように思います。

ドル円は先週、92円から94円あたりの間に収まってしまっています。この状況はしばらく続くのではないかと見ています。

ユーロドルが目標を達成するまでは、取引の主体はユーロドルで、クロス円はその動きとNYダウの動きを追随する状況は続くのではないかと思います。

予想レンジは91円から94円です。

ユーロ円はユーロドルのダウントレンドを追随しそうです。

ユーロドルが1.2割れで一応の収束を考えてはいるのですが、あまり自信は持てません。行けるところまで行くという目標であれば1.1あたりまでは当然考えられます。収束後のドル売り、円売りの動きは早いとは思いますが、それを狙った逆張りは危険なように思います。

予想レンジは110円から115円です。

ポンド円も、ポンドドル売られすぎからのポンド買い戻しの動きは、少し鈍っているように思います。ユーロの動きに合わせて、130円あたりまでの下落は考えておいた方が良いでしょう。

予想レンジは130円から136円です。

ここから売り方に乗っていくのも難しい気はしますし、反対に逆張り買いはもっと危険です。

こういった相場状況の時はあくまで短期(短時間)狙いに徹するか、何もせずに静観することをお勧めします。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。